

仏教とお寺をやさしく解説

# さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2012年9月

第10号

(年4回発行)

秋の  
お彼岸号

発行部数3千部

西願寺本尊の造立年／丹羽義昭住職インタビュー  
シリーズ浄土宗／報恩感謝の法要「お十夜」  
実践教室／忌服  
仏事相談／友引でも葬儀はできるの？



阿弥陀如来座像(西願寺所蔵)

# 遊馬山一行院 西願寺の本尊 阿弥陀如来像

西願寺は、今から三九七年前（元和元年）江戸時代前期に本譽願故和尚によって開かれたお寺です。新編武蔵風土記稿、武蔵国群村誌では

「竪三十五間横三十五間面積四百五十坪、村の北方にあり埼玉群加倉村 浄国寺末なり」とあり、また、本尊弥陀は安阿弥の作也、稲荷社・不動堂と記されています。

平成二十二年の本堂落慶にあたり、本尊仏具の大修復が行われた際に、今まで不明とされていた本尊の造立の年号が発見されました。



西願寺参道



本尊 阿弥陀如来像

「正徳二 癸巳年新規定立の文字が見て取れる。  
※正徳三 癸巳年は西暦1713年にあたる



本尊（阿弥陀如来像）光背下部

**問** 今まで、はっきりと分からなかった、ご本尊の造立年号が新たに分かったとのことですが。

**住職** はい。ご本尊の阿弥陀如来像の光背と台座をつなぐ部分があるのですが、そこに書かれていたのを見つけたのです。

一昨年、西願寺の本堂・庫裡落慶に合わせてご本尊や仏具の修復の際にご本尊も一度、光背などを外して金箔を塗り直したのですが、その時には造立年号が書かれていたことに誰も気づくことができませんでした。しかし、先日平成二十二年に落慶法要があったこと、その際に、この本尊の修復を行ったことがわかるように本尊のどこかに記載しておこうともう一度本尊の光背を外したところ、よくよく見ると何か書いてあることに気づき、そこで造立年号が分かったのです。正徳三年と書かれていたので今からおおよそ三百年前につくられたものだということが分かりました。

**問** 西願寺の創建は、元和元年（1615年）ですから、このご本尊は創建当初からのものではないのですか？

**住職** そうですね。このお寺は長い歴史の中で住職がいない時代もあったようなので、寺歴など詳細が分かる資料が少ないのですが、実は、阿弥陀如来像はもう一つあるのです。



本尊 阿弥陀如来像  
天文18年8月18日（1549年）

**住職** これが、その仏像なのですが本堂にあるものよりずっと小さく、また古いものなんです。新編武蔵風土記稿には、西願寺について本尊阿弥陀如来は安阿弥作と伝わると書かれているので、もしかしたらこちらが創建当初のご本尊だったのかもしれないね。

※安阿弥＝快慶（かいけい）生没年不詳。鎌倉時代に活躍した仏師。運慶とともに鎌倉時代を代表する仏師の一人である。



西願寺本堂内陣

**問** こちらは、塗りも施されていますし、本堂にあるご本尊とは顔の趣も違いますね。仏像は、仏師によっても時代によっても顔立ちや姿が全然違うそうですし、じっくりと仏像を見るのも楽しいですよ。仏像めぐりが人気なのもわかる気がします。お参りにいらっしゃる皆さんも、ご本尊さまにお参りされていかれますか？

**住職** お墓参りの方で、こちらまで参られる方はそう多くはないと思います。でも、本来はお墓を参る前に本堂のご本尊にお参りするのがお墓参りの作法でもあるのですが…。

**問** ご本尊もそうですが、本堂の前にある六地藏も元禄十三年建立とのこと、とても風情があり歴史も感じられるものですか。是非皆さんにもお寺へお参りして頂きたいですね。

**住職** そうですね。十月には本堂で十三夜のお月見コンサートも開催されますので、気軽にお寺に足を運んでくださると思います。

#### 近年の西願寺

昭和九年 葺葺屋根の本堂から瓦葺に改装  
昭和四十三年 寺で経営の幼稚園から出火、本堂、庫裡を消失

昭和五十二年

前任住職 明譽尊照住職 第三十一世住職就任

平成二十二年

念譽義昭住職 第三十二世住職就任  
平成二十七年 創建四〇〇年を迎える



六地藏 元禄13年（1700年）建立

## 報恩感謝の法要

### 「お十夜」

毎年秋になると、全国の浄土宗の寺院では広く「お十夜」の法要が営まれます。

この季語ともなっているお十夜は、「十夜会」や「十夜法要」とも呼ばれ、もとは旧暦の十月五日の夜から十五日の朝まで、十日十夜に渡って行われる法要でした。お十夜の由来はどのようなものなのでしょうか？



### お十夜の法要ってどんな法要？

この法要は、浄土宗のよりどころとする經典の浄土三部經の一つ、「無量壽經」の一節「この世において十日十夜の間善行を行うことは、仏の国で千年間善行をすることよりも尊い」と説かれていることによって、その教えを実践したもので、十日十夜にわたり不断念仏を称えて別時の念仏を修し、阿彌陀さまのお慈悲に感謝する法要です。現在では、その期間は10日間から短縮され行われています。

### 由来は

日本独自のこの法要は、室町時代（永享年間1429～1440）に、京都の天台宗の真如堂で、伊勢守平貞經の弟貞国が修したことが始まりとされています。

その後、明応4年（1495）に、浄土宗の大本山の一つ、鎌倉光明寺の第九世 観誓祐崇上人が、後土御門天皇に招かれ宮中で『阿彌陀經』の講義をされ、さらに真如堂の僧といっしょに引声念仏を修し、勅許を得て、光明寺で法要を行うようになりました。

これが浄土宗でのお十夜の始まりです。

お十夜は正式には「十日十夜別時念仏会」といい、お念仏の尊さを知り、感謝の気持ちを込めてこれをお称える法要です。



## 忌服



### ◆忌服のいわれ

近親者が亡くなると一定の期間は、喪に服します。これを「忌服」といいます。

忌服のいわれは、明治七年に、武家の忌服制に基づいて、太政官から布告された『服忌令』（ぶつきれい）で忌み日、服日の期間などが細かく決められました。

現在では、厳格な決まりはありませんが、官公庁で定められた忌引休暇は配偶者が死亡した場合で最高十日まで、父母が死亡したときは七日となっていて一般の会社でも忌服の期間は仏教の忌日の考え方に従って「忌中」は四十九日の忌明けまで、「喪中」は一年とすることが多いようです。

### ◆忌服中に近親者が亡くなった場合

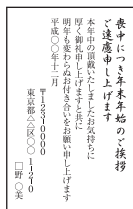
忌服期間中に別の近親者が亡くなり、忌服が重なることがあります。これを「重忌服」といいます。

忌服の期間は、新たに亡くなった人の死亡日から次の忌服を重ね、その喪が明けるまでを喪中とします。

### ◆年賀欠礼はがき

服喪中に新年を迎える場合、年賀のご挨拶は行いません。十一月中旬頃までに、年賀欠礼はがきを出します。

また、喪中に年賀状をいただいたら、松の内を過ぎてから寒中見舞いとして返礼するのが望ましいでしょう。



### ◆別世帯の肉親の年賀欠礼は

自分を中心とした一親等（父母・配偶者・子）と、生計を共にしている二親等（祖父母・兄弟姉妹・孫など）にあたる人が亡くなったときは、喪中・年賀欠礼状を出す習慣があります。近年では、世帯が別の場合は、二親等の間柄でも新年を祝うことが多くなりました。

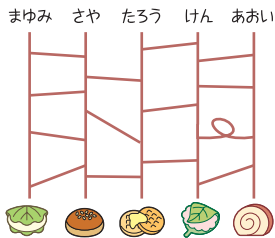
## 暮らしの中の 仏教語

## 「あみだくじ」

阿弥陀さまの名前のこのくじ、なぜこういうのかご存知ですか？

室町時代から行われてきたこのくじ、もともとは人数分の線を引き一端にそれぞれの異なる金額を書いて隠し、各自が引き当てた金額を出させ、集めたお金で茶菓子などを買って平等に分配する仕組みだったのだとか…。

現在は、何かの順番を決めたり当たりはずれがあったりと用途は様々。くじは縦に平行に数本の線を引きその間に横線を入れて上から下へとたどっていくというものですが、その昔、この縦線は放射状に描いていて中心に当たりがあったのだそうです。この放射状に描かれた線が阿弥陀さまの頭の後ろから射している後光に似ているところからこの名前がついたそうです。



## ■第3回 十三夜お月見コンサートのご案内■

今年で三回目を迎えた西願寺お月見コンサートが開催されます。今回は、二胡奏者の野沢香苗さんを招いての開催となります。秋の一夜を美しい二胡の音色でお楽しみください。

日 時／平成24年10月12日（金）

18時受付

場 所／西願寺本堂

参加費／1,000円

参加申込・お問合せは下記の西願寺TEL・FAXまで



野沢香苗（二胡奏者）

◆プロフィール

福井県出身

2003年よりプロとして演奏活動を開始

2007年ユーキャンよりメジャーデビュー



昨年開催された「第2回 十三夜お月見チャリティーコンサート」  
西願寺本堂

## 西願寺 別時念佛会のご案内

こころの安らぎともなるお念佛を  
ご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺  
本堂



### ■参加申込について

事前にご連絡をお願い致します。

当日でも大丈夫です。

お気軽にご参加ください。

※当日灯明料をご奉納願います。

お月見コンサート・別時念佛会のお申込・お問合せ

西願寺

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1723

## Q & A



友引に葬儀を挙げることはできますか？



友引に葬儀を行ってはいけないということはありません。

友引は中国で生まれた六曜という暦注の一つで、先勝・友引・先負・仏滅・大安・赤口の6種の中の言葉です。ですから仏教的な根拠はなく、その字から「友を引く」ととらえ縁起が悪いと考えその日に葬儀を行わないという間違った風習が定着してしまったようです。

また、友引という文字も元々は「共引」という字であり、その意味も「共に引く、勝負なし」というものであるので葬儀を挙げていけないという理由はないのですが、現状は地域にもよりますが火葬場などの定休日となっていることも少なくないようです。



## 掲 示 板

### ●秋彼岸会

9月19日(水)～9月25日(火)

### ●葬祭フェア開催

9月22日(土) 23日(日)

場所…彩の都 あすま会館

当日は、会場で祭壇等の展示をし葬儀についてのご相談やご質問をお受けいたします。お気軽にお越しください。

葬祭フェアについての

お問合せ(彩の都 あすま会館)

**TEL. 048-921-4194**



毎週水曜日は管理事務所の定休日とさせていただきます。事務手続き、電話問合せなどの業務はおこなえません。

皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご了承ください。

尚 墓所へのお参りは通常どおり開門しておりますのでご自由にいらしてください。

### 季節の雑学

#### お月見

空気が澄み月が美しく見える旧暦の8月15日を「十五夜」「中秋の名月」と呼びます。中秋の名月とは“秋の真ん中に出る満月”の意味で、旧暦では1月から3

月を春、4月から6月を夏、7月から9月を秋、10月から12月を冬としていたことから、8月は秋のちょうど真ん中であり8月15日の夜に出る満月ということでそう呼ばれるようになりました。

月を愛でる習慣は、平安の頃にはじまり月の光の下で歌を詠んだり舞を舞ったりと風流な宴が開かれていたのだとか…。

さて、お月見は本来旧暦の8月15日の「十五夜」と旧暦の9月13日「十三夜」の両方を眺める事を言い、片方だけでは「片見月」と言ってよくないことだとされていました。また、秋の実りの収穫期でもあることから豊作を祈り、感謝する農耕儀礼の意味合いもあり、この頃収穫の時期を迎える芋をお供えたことから十五夜は「芋の名月」、十三夜を「豆名月」「栗名月」などとも呼びます。

ちなみに今年の十五夜は9月30日、十三夜は10月27日です。

たまには空に浮かぶ月をゆっくりと愛でる時間を持つのもいいものです。



#### ■お便り募集■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思えます。また、「さんか」についてのご感想もお待ちしております。

#### ◆イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部  
東京都千代田区飯田橋四・七十一 カクタス飯田橋ビル7F  
FAX 03(32695)13692  
Mail: info@ic-co.net

#### ■次号予告

次号は平成二十四年十二月発行予定の「新年号」です。



#### ◆編集後記◆

お彼岸の頃を迎えると、空が高く感じられ、そろそろ秋！ やつと秋！ という気持ちもむくむく湧いてきます。芸術の秋、食欲の秋、読書の秋と皆さん思い思いの秋を楽しまれるのではないですか？ 西願寺でも秋の一夜に毎年恒例となったお月見コンサートが開催されます。今年はなんと二胡の演奏だとか。二胡は、どこか懐かしいような心にしみる音色を響かせてくれる楽器です。お寺の本堂で聞くのも格別ではないでしょうか？ さて、今回のさんがの取材では西願寺のご本尊や本堂前の六地藏がとても古いものだということを知りました。西願寺が開かれたのが元和元年。大阪夏の陣の年です。から、長い歴史を感じずにはいられません。お寺の佛像などはその長い歴史をずっと見てきたのですよね。そう思うと改めて間近に見ることができるのが有難いことと感じられます。

#### 発行者／

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一四一九四

FAX 〇四八一九二二一四一九五

#### 企画・編集・製作／

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部